

ヨハネの黙示録

～イエス・キリストの黙示（啓示・開示）～



聖書フォーラム
BIBLE FORUM



第3回

クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」講解 黙示録3章

2017/7/9 (日)

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子書籍版か書籍版(紙版)テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*まとめ買いしておりますので
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。



ご利用方法について

○格納場所 <http://seishoforum.net/>
神戸元町聖書フォーラムのトップページ

○2種類の格納方法

PDF版…携帯端末からはこちらで参照ください

※発表者コメントはみれません。

データ版…PCから見る場合は、こちらをご参照

※発表者コメントも確認できます。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

全体構造理解の大前提！

ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

(1)聖書を字義通りに解釈

(2)イスラエルと教会を一貫して区別。

(3)神がユダヤ民族と

アブラハム契約を結ばれたこと

それが永遠の契約であることを認める。

(4)歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を 超越した 永遠の秩序 <u>黙21:1</u> <u>～22:5</u>
	① ～無垢の 時代～	② ～良心の 時代～	③ ～人間による 統治の時代～	④ ～約束の 時代～	⑤ ～律法の 時代～	⑥ ～恵みの 時代～	⑦ ～御国の 時代～	
聖書箇所	創1:28 ～3:8	創3:9 ～8:14	創8:15 ～11:32	創12:1 ～出18:27	出19:1 ～使徒1:26	使徒2:1 ～黙19:21	黙20:1 ～10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26～31・創2:16～17							
2. アダム契約 聖書箇所		【2】 ・創3:14～19						
3. ノア契約 聖書箇所			【3】 ・創9:1～17					
4. アブラハム契約 聖書箇所				【4】 ・創12:1～3 ・創12:7 ・創13:14～17 ・創15:1～21 ・創17:1～21 ・創22:15～18				
5. モーセ契約 聖書箇所					【5】 ・出19:3～8 ・広くは出20:1～31:18			
6. 土地の契約 聖書箇所					【6: 土地】 ・申29:1～30:1 *特に申29:1に注目			
7. ダビデ契約 聖書箇所					【7: 子孫】 ・Ⅱサム7:11b～17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b～15(メシア強調)			
8. 新しい契約 聖書箇所					【8: 祝福】 ・エレ31:31～34			

最初に、神が天と地を創造した。

• 地は混沌として何もなかった。やみが大水の上にあり、ノも神の霊が水の上を動いていた。

神は仰せられた。光があれば。すると光があった。・・・以後、6日間にわたる神の御わざ(再創造)

時代区分	過去					現在	未来
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア
責任	エデン契約への従順	アダム契約への従順	ノア契約への従順	アブラハム契約への従順	モーセ契約に従う後の預言者たちに従う	神からの「義の賜物」を受け取る責任(ロマ5:15~18) 新しい契約に従順	新しい契約への忠実 メシアを信じる信仰義認 王であるメシアと御国の律法への従順
1. エデン契約	→【1】エデン契約						
聖書箇所	・創1:26~31・創2:16~17						
契約の当事者	①神とアダム ②アダムは人類代表 ③アダムの行はは全人類に影響						
2. アダム契約	アダム契約【2】						→アダム契約
聖書箇所		・創3:14~19					
契約の当事者		①神とアダム ②アダムは人類代表 ③アダムの行はは全人類に影響					
3. ノア契約		→ノア契約【3】					→ノア契約
聖書箇所		・創9:1~17					
契約の当事者		①神とノア ②ノアは人類代表 ③ノアの行はは全人類に影響					
4. アブラハム契約			→アブラハム契約【4】				→アブラハム契約
聖書箇所			・創12:1~3 ①神とアブラハム ②アブラハムの子孫に継承 ③契約の「しるし」は、割礼 ④継承されることはない	・創12:7 ①神とアブラハム ②アブラハムの子孫に継承 ③契約の「しるし」は、割礼 ④継承されることはない	・創13:14~17 ①神とアブラハム ②アブラハムの子孫に継承 ③契約の「しるし」は、割礼 ④継承されることはない		
契約の当事者			①神とアブラハム ②アブラハムの子孫に継承 ③契約の「しるし」は、割礼 ④継承されることはない	①神とアブラハム ②アブラハムの子孫に継承 ③契約の「しるし」は、割礼 ④継承されることはない	①神とアブラハム ②アブラハムの子孫に継承 ③契約の「しるし」は、割礼 ④継承されることはない		
5. モーセ契約				→モーセ契約【5】			
聖書箇所				・出19:3~8 ①神とイスラエルの民・神の使者はモーセ ②約束の地に移動途中 ③モーセ律法の付与 ④基本的には恵みの契約	・出19:3~8 ①神とイスラエルの民・神の使者はモーセ ②約束の地に移動途中 ③モーセ律法の付与 ④基本的には恵みの契約		
契約の当事者				①神とイスラエルの民 ②神の使者はモーセ ③約束の地に移動途中 ④モーセ律法の付与 ⑤基本的には恵みの契約	①神とイスラエルの民 ②神の使者はモーセ ③約束の地に移動途中 ④モーセ律法の付与 ⑤基本的には恵みの契約		
6. 土地の契約				→土地の契約【6:土地】			→土地の契約(土地)
聖書箇所				・申29:1~30:1 ①神とイスラエルの民	・申29:1~30:1 ①神とイスラエルの民		
契約の当事者				①神とイスラエルの民	①神とイスラエルの民		
7. ダビデ契約				→ダビデ契約【7:子孫】			→ダビデ契約(子孫)
聖書箇所				・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強襲) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強襲)	・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強襲) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強襲)		
契約の当事者				①神とダビデ ②ダビデはダビデ家の代表として	①神とダビデ ②ダビデはダビデ家の代表として		
8. 新しい契約				→新しい契約【8:祝福】			→新しい契約(祝福)
聖書箇所				・エレ31:31~34 ①神とイスラエルの2つの家(ユダとイスラエル)	・エレ31:31~34 ①神とイスラエルの2つの家(ユダとイスラエル)		
契約の当事者				①神とイスラエルの2つの家(ユダとイスラエル)	①神とイスラエルの2つの家(ユダとイスラエル)		

A3版のお手元資料

人類墮落前のエデンの園以上の回復

サタン墮落前のエデンの園以上の回復

以前の天と地は過去だった 白い御座の働き 第二の復活と第二の死

黙21:1 ~22:5
新天新地
新しいエルサレム
神の栄光
時間を超越した永遠の秩序

エゼ28:13によれば
サタンの反逆によって
エデンの園は
かつての栄光を失った。
聖なる都エルサレムは
その栄光を回復したもので
未来のエデンの園以上の
輝きを与えられている。

祝福 至イエスの恵みがすべての者とともにあるように。アーメン。
結核(信望に足る書 神からの宣言のことば 救いへの招き 警告のことばとイエスの約束)

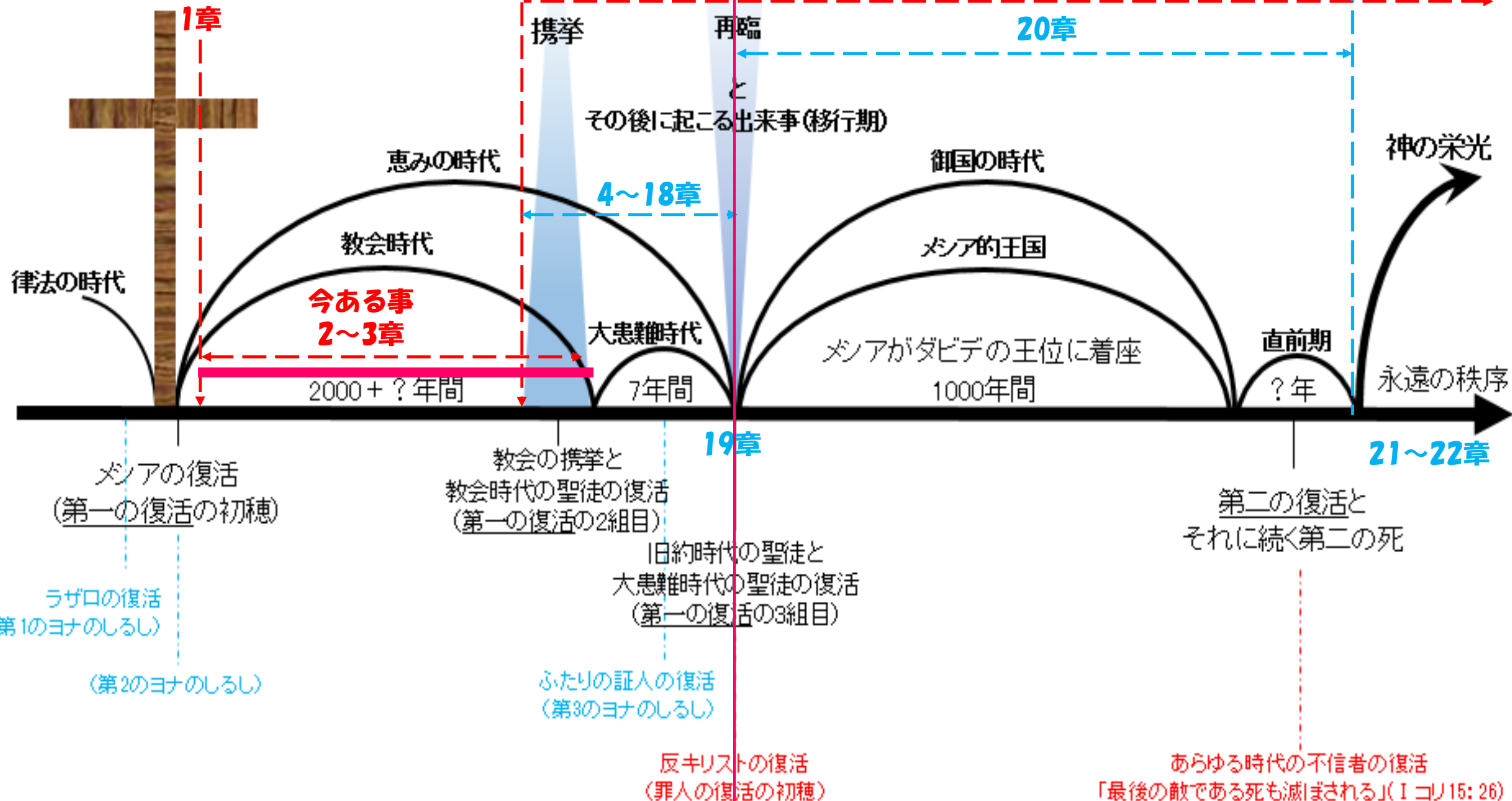
ヨハネが見た事

1章

この後に起こる事(4~22章)

20章

21~22章



序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」

あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」

★Ⅰ. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」

★Ⅱ. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

★Ⅲ. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

11:15~19のみ本文 -----> (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

他は巨大な挿入句

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

巨大な挿入句 -----> (4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3) -----> クライマックスは再臨

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5) -----> ゴール(神の栄光)

結論(22:6~21)

1章のポイント

(1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

Rev1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたち
に示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御
使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。

(2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

Rev1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。 すべての目、ことに彼を突き刺した者た
ちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

(3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

Rev1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。

2章のポイント

1つの教会の意味 ～3つの神学的意味～

アジアにある7つの教会



7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2：1～3：22)

教会名	内 容	キリスト描写	賞 賛	叱 責	奨 励	約 束
エペソ 意味：好ましい (黙 2：1～7) 使徒時代の教会の型 紀元 30 年～100 年頃		・右手に七つの星を持つ方 ・七つの金の燭台の間を歩く方	・行いと労苦と忍耐 ・悪い者たちを追放した ・偽教師たちの教えを拒否した ・ニコライ派の行いを憎んでいる	・初めの愛から離れてしまった	・どこから落ちたかを思い出せ ・悔い改めよ ・初めの行いをせよ	・いのちの木の實を食べる
スミルナ 意味：没薬 (黙 2：8～11) 迫害時代の教会の型 1 世紀～4 世紀		・初めてあり、終わりである方 ・死んで、また生きた方	・貧しさと迫害に耐えている		・苦しみ恐れるな ・死に至るまで忠実であれ	・いのちの冠が与えられる ・第二の死によってそこなわれることはない
ペルガモ 意味：結婚した (黙 2：12～17) 国家教会時代の教会の型 4 世紀～5 世紀		・鋭い、両刃の剣を持つ方	・キリストの名を堅く保っている ・キリストに対する信仰を捨てなかった	・バラムの教えを奉じている人々がいる ・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる	・悔い改めよ	・隠れたマナ（栄光のキリスト）が与えられる ・新しい名が記された白い石が与えられる
テアテラ 意味：継続した犠牲 (黙 2：18～29) 暗黒時代の教会の型 6 世紀～15 世紀		・燃える炎のような目を持つ方 ・その足は光り輝くしんちゅうのような方 ・神の子	・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐 ・初めの行いにまさる行いをしている	・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した	・悔い改めよ ・正しい行いと教理を維持せよ	・諸国の民を支配する権威が与えられる ・明けの明星（キリスト）が与えられる
サルデス 意味：逃れる者 (黙 3：1～6) 宗教改革時代の教会の型 16 世紀～17 世紀		・神の 7 つの御霊、および 7 つの星を持つ方	・正しい行い ・生きているとの評判がある	・実は死んでいる	・目をさませ ・死にかけているほかの人たちを力づけよ ・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ	・白い衣を着せられる ・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す
フィラデルフィア 意味：兄弟愛 (黙 3：7～13) 大宣教時代の教会の型 18 世紀～19 世紀		・聖なる方、真実なる方 ・ダビデのかぎを持っている方	・よい行い ・キリストのことばを守り、その名を否まなかった			・試練の時（大患難時代）から守られる ・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される
ラオデキア 意味：人々が支配する (黙 3：14～22) 腐敗時代の教会		・アーメンである方 ・忠実で、真実な証人 ・神に造られたものの根源である方		・熱くも冷たくもない ・生ぬるいので口から吐き出す ・みじめで、衰れで、盲目で、裸の者である	・火で精錬された金をキリストから買え ・裸の恥を隠さないために着る白い衣を買え ・目に塗る目薬を買え	・勝利を得る者は、キリストと食事をする ・キリストとともに統治する

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後に起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事:教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦(17章)

1900~現代

1848~1900年

✕7:ラオデキヤ「人々が支配する」「背信の教会」

1517~1648年

◎6:フィラデルフィア「大宣教時代の教会」「兄弟愛」

600~1517年

◎5:サルデス「逃れ出る」「宗教改革時代の教会」

313~600年

◎4:テアテラ「継続した犠牲」「暗黒時代」

100~313年

◎3:ペルガモ「結婚した」「国家教会」

30~100年頃

◎2:スルナ「迫害時代の教会」「没築」

81~96年

◎1:エベソ「好ましい」「使徒時代の教会」

I あなたの見た事(1章)

主の日:主の栄光が輝きてきた特別な日

II.第3回) 黙示録3章アウトライン

テーマ11「サルデスにある教会へ」

テーマ12「フィラデルフィアにある教会へ」

テーマ13「ラオデキヤにある教会へ」

全78テーマの学び！

毎回平均で2～3テーマを学びます！

月1回の学びを、都合20回程度行います！

手紙のアウトライン(6つ)

手紙の宛先 → 教会の守護天使。

キリスト描写 → 教会が抱える問題を解決するに必要なイエスのご性質。

賞賛 → 教会への褒め言葉

叱責 → 教会への叱責

奨励 → 個人（信者）への問題解決の勧めの言葉

約束 → 勝利する個人（信者）への祝福の言葉

結論：勝利者とは 勝利者への約束とは

各テーマの適用ポイント

- (11) 宗教改革時代の教会から学ぶ
- (12) 大宣教時代の教会から学ぶ
- (13) 背教の時代における信者の責務を果たす

このメッセージは、ヨハネの黙示録
第3章について学ぼうとするものである。

III. ここからが本論！

...

黙示録 3：1～6



「サルデスにある教会へ」

11) サルテスにある教会 (3 : 1-6)

宛先 Rev3:1a また、サルテスにある教会の御使いに
書き送れ。

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後に起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

1848~1900年

✕ 7: ラオデキヤ 「人々が支配する」 「背信の教会」

1517~1648年

6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」 「兄弟愛」

600~1517年

5: サルデス 「逃れ出る」 「宗教改革時代の教会」

313~600年

4: テアテラ 「継続した犠牲」 「暗黒時代」

100~313年

3: ベルガモ 「結婚した」 「国家教会」

30~100年頃

2: スルナ 「迫害時代の教会」 「没落」

81~96年

1: エベソ 「好ましい」 「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きてきた特別な日

描写

Rev3:1b / 『神の**七つの御霊**、および**七つの星**を持つ方がこう言われる。

賞賛
(教会へ)

Rev3:1c 「わたしは、あなたの行いを知っている。
あなたは、生きていとされているが、

叱責
(教会へ)

Rev3:1d **実は死んでいる。**

Rev3:2 目をさましなさい。そして死にかけているほかの人たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いが、わたしの御前に全うされたと見てはいない。

**奨励
(信者へ)**

Rev3:3 だから、あなたがどのように受け、また聞いたのかを思い出しなさい。それを堅く守り、また悔い改めなさい。もし、目をさまさなければ、わたしは盗人のように来る。あなたには、**わたしがいつあなたのところに来るか、決してわからない。**

約束 (信者へ)

Rev3:4 しかし、サルテスには、**その衣を汚さなかった者が幾人かいる**。彼らは**白い衣**を着て、わたしとともに歩む。彼らはそれにふさわしい者だからである。

Rev3:5 勝利を得る者は、このように**白い衣**を着せられる。そして、わたしは、彼の名を**いのちの書**から消すようなことは決してない。わたしは彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。

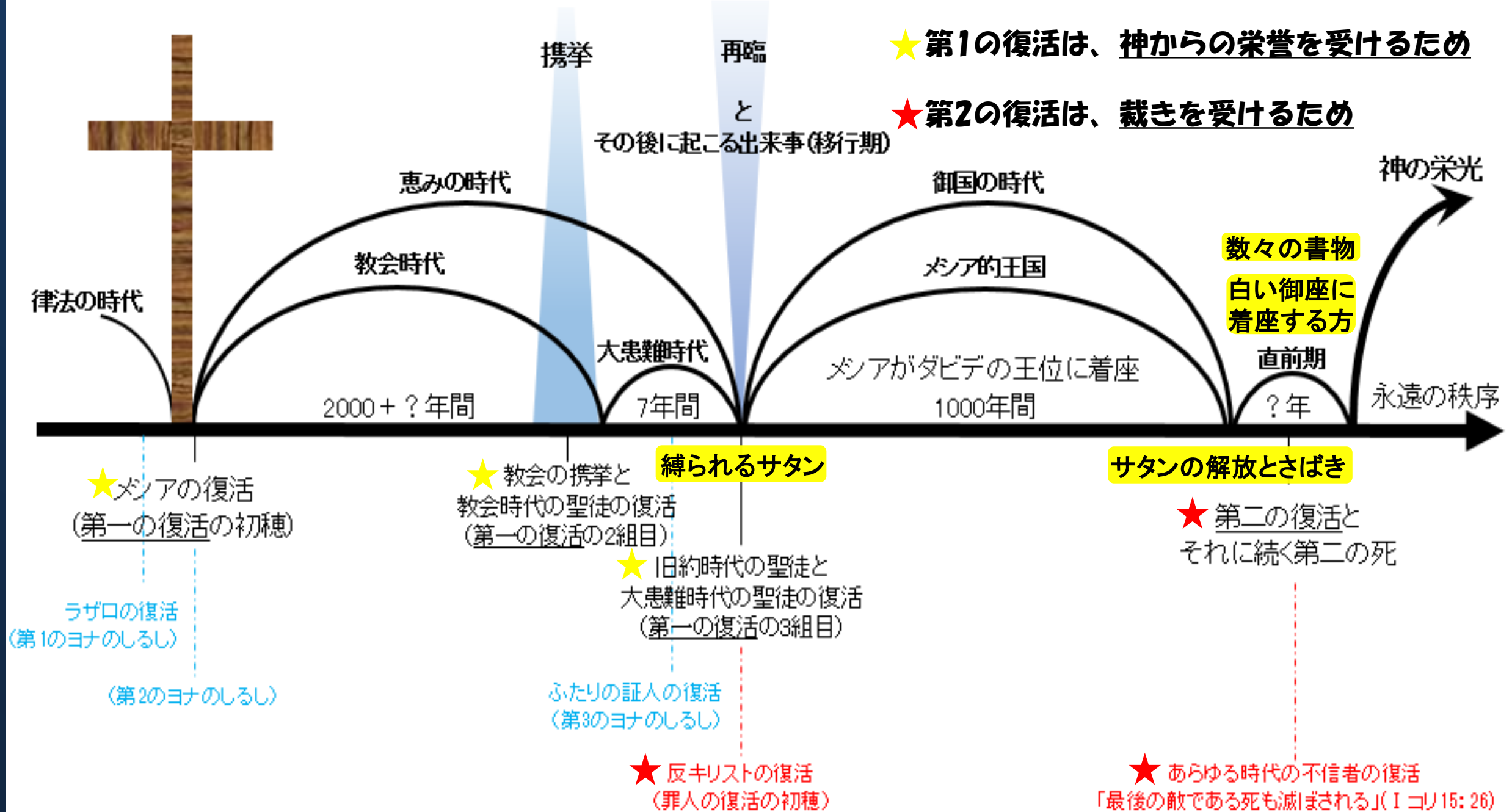
Rev3:6 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。 」 』

参照：テーマ63) 20：11～12「白い御座のさばき」

Rev20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。

Rev20:12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、**いのちの書**であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。

数々の書 黙20:12	各人の行いが記録された書物。信者とは関係ない。 「いのちの書」に記載されていない罪びと(不信者)の行動が記されており彼らは、その内容に基づいて裁かれる。罪人の裁きにはそれぞれ程度がある。
いのちの書 詩139:16、69:28 出32:31～33 黙3:5、20:11～12	地上に誕生した全ての人の名が記されている書物。罪人のままで死んだ人の名は、その書から消し去られる。その人は、白い御座の裁きで裁かれる。 千年王国の終了時に「小羊のいのちの書」と「いのちの書」の内容が合致する。
小羊のいのちの書 黙13:8、17:8	信者(新生した人)の名前が記された書物 信者の名は天地創造の前からその書に記されている



適用11) 宗教改革時代の教会からの学び

～「正統教理の全体回復」と「教理と愛の両輪の調和」～

(1) 1517年からちょうど500年

- ① 宗教改革では救済論だけが回復した
- ② 回復途上の聖書的教理がまだある

***イスラエル論 *預言解釈 *終末論**

- ③ **黙示録**には、その全ての要素が含まれる

**失われた教理を
回復させる方法とは**

モットー

「聖書研究から日本の靈的覚醒（目覚め）が」

学びと行動の両輪

「**教理**」と「**実践**」という二面性は、

「**真理**」と「**愛**」ということばで置き換えることができます。

「真理」（教理）と「愛」（実践）が**調和**した

真のクリスチャン生活を、ともに目指しましょう！

**第二の宗教改革の時にあって
ぜひ両輪を調和させたい！**

自立への道

教会の病理現象（**FATIM**）からの脱却

①形式主義(**FORMALISM**)から自由主義(**FREEDOM**)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(**AUTHORITARIANISM**)から自治(**AUTONOMY**)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(**TRADITIONALISM**)から変革(**TRANSFORMATION**)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(**INWARD-LOOKING**)から外向き志向(**OUTWARD-LOOKING**)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(**MEMBERSHIP-ORIENTED**)から流動志向(**MIGRATION-ORIENTED**)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。

聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

私たちの**ABC**

AIM … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

BASIS … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

CONCEPT … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

黙示録 3：7～13



「フィラデルフィアにある教会へ」

12) フィラデルフィアにある教会 (3:7-13)

宛先 Rev3:7a また、フィラデルフィアにある教会の
御使いに書き送れ。

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後に起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

1848~1900年

✕ 7: ラオデキヤ 「人々が支配する」 「背信の教会」

1517~1648年

6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」 「兄弟愛」

600~1517年

5: サルデス 「逃れ出る」 「宗教改革時代の教会」

313~600年

4: テアテラ 「継続した犠牲」 「暗黒時代」

100~313年

3: ベルガモ 「結婚した」 「国家教会」

30~100年頃

2: スルナ 「迫害時代の教会」 「没落」

81~98年

1: エベソ 「好ましい」 「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝いてきた特別な日

描写

Rev3:7b / 『聖なる方、真実な方、ダビデのかぎをもっている方、彼が開くとだれも閉じる者がなく、彼が閉じるとだれも開く者がいない、その方がこう言われる。

賞賛
(教会へ)

Rev3:8 「わたしは、あなたの行いを知っている。
見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、
あなたの前に開いておいた。なぜなら、**あなたには、
少しばかりの力があって、**わたしのことばを守り、
わたしの名を否まなかったからである。

Rev3:9 見よ。**サタンの会衆に属する者、すなわち、
ユダヤ人だと自称しながら実はそうでなくて、うそ
を言っている者たちに、**わたしはこうする。見よ。
**彼らをあなたの足もとに来てひれ伏させ、わたしが
あなたを愛していることを知らせる。**

叱責
(教会へ)

なし

奨励
(信者へ)

なし

約束 (信者へ)

Rev3:10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、**全世界に来ようとしている試練の時には、**あなたを守ろう。

Rev3:11 **わたしは、すぐに来る。**あなたの冠をだれにも奪われないように、あなたの持っているものをしっかりと持っていていなさい。

Rev3:12 勝利を得る者を、わたしの**神の聖所の柱**としよう。彼はもはや決して外に出ていくことはない。わたしは彼の上に**わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下ってくる新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名と**を書きしるす。

参照：テーマ73) 21：22～27 「都のあかりなる小羊」

*特徴⑥ 不要になったもの(22～23節)

Rev21:22 私は、この都の中に神殿を見なかった。それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。

Rev21:23 都には、これを照らす太陽も月もない。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。

参照：テーマ61) 20：4～6 「千年王国」

***キリストの支配（4節）**

Rev20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

**約束
(信者へ)**

**Rev3:13 耳のある者は御霊が諸教会に言われる
ことを聞きなさい。』』**

適用12) 大宣教時代の教会から学ぶ

～正統教理を全体回復させた聖書的な教会の伝道スタイルとは～

(1) フィラテルフィアの教会は真実な教会

① 聖書の教えに回帰した教会

② 回復途上の教理が回復されたなら！更に

- ・ **より大きなリバイバル・霊的覚醒が起こる予感**

③ 大患難時代の3つの目的

- ・ **世界大のリバイバル⇒この働きに繋がる！**

- ・ **イスラエルの国家的な回心⇒この働きに繋がる！**

- ・ **地上からの邪悪の一掃**

正統教理を回復した
聖書的な教会が
果たす責務とは

ユダヤ人に対する教会の責務

1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2
- ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

黙示録

3：14～22



「ラオデキヤにある教会へ」

13) ラオデキヤにある教会 (3 : 14-22)

宛先 Reva 3:14 また、ラオデキヤにある教会の御使
いに書き送れ。

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後に起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

1848~1900年

✕7: ラオデキヤ 「人々が支配する」 「背信の教会」

1517~1648年

6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」 「兄弟愛」

600~1517年

5: サルデス 「逃れ出る」 「宗教改革時代の教会」

313~600年

4: テアテラ 「継続した犠牲」 「暗黒時代」

100~313年

3: ベルガモ 「結婚した」 「国家教会」

30~100年頃

2: スルナ 「迫害時代の教会」 「没落」

81~96年

1: エベソ 「好ましい」 「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きた特別な日

描写

Revb / 『アーメンである方、忠実で、真実な証人、
神に造られたものの根源である方がこう言われる。』

賞賛
(教会へ)

なし

叱責
(教会へ)

Rev3:15 「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、**冷たくもなく、熱くもない**。わたしはむしろ、あなたが**冷たいか、熱いか**であってほしい。

Rev3:16 このように、あなたは**なまぬるく、熱くも冷たくもない**ので、**わたしの口からあなたを吐き出そう**。

Rev3:17 あなたは、自分は富んでいる。豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実は自分が**みじめで、衰れで、盲目で、裸の者**であることを知らない。

**奨励
(信者へ)**

Rev3:18 わたしは、あなたに忠告する。豊かな者となるために、**火で精錬された金**をわたしから買いなさい。また、あなたの**裸の恥を現わさないために着る白い衣**を買いなさい。また、目が見えるようになるため、**目に塗る目薬**を買いなさい。

Rev3:19 わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりする。**だから、熱心になって、悔い改めなさい。**

約束 (信者へ)

Rev3:20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、**彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。**

Rev3:21 **勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。**それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

参照：テーマ61) 20：4～6 「千年王国」

***キリストの支配（4節）**

Rev20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。**彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。**

序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」

あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」

★Ⅰ．ヨハネが見た事：栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」

★Ⅱ．今ある事：教会時代(2:1~3:22)

★Ⅲ．この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復：2つの大バビロン(17:1~18:24)

→ 再臨までのプロセス

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3) -----> クライマックスは再臨

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5) -----> ゴール(神の栄光)

結論(22:6~21)

**約束
(信者へ)**

**Rev3:22 耳のある者は御霊が諸教会に言われる
ことを聞きなさい。**

適用13) 背教の時代における信者の責務

(1) 心の中から締め出していた認識

① キリスト、御言葉、・・・

→ あなたは、何を締め出していましたか？

(2) 外から戸をたたいておられる認識

① 聖霊の働きの第一義とは

→ 正しい福音理解、正しい御言葉の理解

(3) 主の声に応答して戸を開く行動

① 声のとどいた瞬間や出来事が必ずある

→ あなたにとって応答のきっかけとなった声は？

IV : まとめとしての 結論

7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2：1～3：22)

教会名	内 容	キリスト描写	賞 賛	叱 責	奨 励	約 束
エペソ 意味：好ましい (黙 2：1～7) 使徒時代の教会の型 紀元 30 年～100 年頃		・右手に七つの星を持つ方 ・七つの金の燭台の間を歩く方	・行いと労苦と忍耐 ・悪い者たちを追放した ・偽教師たちの教えを拒否した ・ニコライ派の行いを憎んでいる	・初めの愛から離れてしまった	・どこから落ちたかを思い出せ ・悔い改めよ ・初めの行いをせよ	・いのちの木の實を食べる
スミルナ 意味：没薬 (黙 2：8～11) 迫害時代の教会の型 1 世紀～4 世紀		・初めてあり、終わりである方 ・死んで、また生きた方	・貧しさと迫害に耐えている		・苦しみ恐れるな ・死に至るまで忠実であれ	・いのちの冠が与えられる ・第二の死によってそこなわれることはない
ペルガモ 意味：結婚した (黙 2：12～17) 国家教会時代の教会の型 4 世紀～5 世紀		・鋭い、両刃の剣を持つ方	・キリストの名を堅く保っている ・キリストに対する信仰を捨てなかった	・バラムの教えを奉じている人々がいる ・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる	・悔い改めよ	・隠れたマナ（栄光のキリスト）が与えられる ・新しい名が記された白い石が与えられる
テアテラ 意味：継続した犠牲 (黙 2：18～29) 暗黒時代の教会の型 6 世紀～15 世紀		・燃える炎のような目を持つ方 ・その足は光り輝くしんちゅうのような方 ・神の子	・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐 ・初めの行いにまさる行いをしている	・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した	・悔い改めよ ・正しい行いと教理を維持せよ	・諸国の民を支配する権威が与えられる ・明けの明星（キリスト）が与えられる
サルデス 意味：逃れる者 (黙 3：1～6) 宗教改革時代の教会の型 16 世紀～17 世紀		・神の 7 つの御霊、および 7 つの星を持つ方	・正しい行い ・生きているとの評判がある	・実は死んでいる	・目をさませ ・死にかけているほかの人たちを力づけよ ・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ	・白い衣を着せられる ・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す
フィラデルフィア 意味：兄弟愛 (黙 3：7～13) 大宣教時代の教会の型 18 世紀～19 世紀		・聖なる方、真実なる方 ・ダビデのかぎを持っている方	・よい行い ・キリストのことばを守り、その名を否まなかった			・試練の時（大患難時代）から守られる ・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される
ラオデキア 意味：人々が支配する (黙 3：14～22) 腐敗時代の教会		・アーメンである方 ・忠実で、真実な証人 ・神に造られたものの根源である方		・熱くも冷たくもない ・生ぬるいので口から吐き出す ・みじめで、哀れで、盲目で、裸の者である	・火で精錬された金をキリストから買え ・裸の恥を現さないために着る白い衣を買え ・目に塗る目薬を買え	・勝利を得る者は、キリストと食事をする ・キリストとともに統治する

勝利を得る者とは 勝利者への約束とは

(1)勝利を得る者とは

- ① イエス・キリストを神の子と信じる者
キリストの招きに応答し、心に迎える者
- ② 私たち信者であり、普通のクリスチャン
- ③ 真の信仰者、妥協を許さない信仰者

(2)勝利者への約束とは

1. サルデスの教会の信者への約束

①白い衣

- ・キリストにある救い（神の義）を象徴
→罪を犯したけれども、それを許された者（信者）が着る義の衣

②いのちの書から名は消されない

- ・地上に誕生したすべての人の名が記されたもの
→罪人のままで死んだ人の名は、その書からは消し去られます。

2. フィラデルフィアの教会の信者への約束

①大患難時代からの守りの約束

②神の聖所の柱となる。

- ・新しいエルサレムでの**聖徒の永遠性**
- ・千年王国における**聖徒の高い地位**

③新しい3つの名が約束されている

- ・さらに白い石に刻まれた名
受ける者のほかはだれも知らない、新しい名
→**名実ともに、神の民、神が所有する宝の民となる。**

3. ラオテキヤの教会の信者への約束

①彼のところに入り、ともに食事をする

- ・キリストの声に応答して戸を開くなら
- ・心の中に入って下さり、親密な交流に与る

②キリストの座に着く

- ・千年王国において
⇒共同相続人となり、共同統治に与る約束

『Rev22:21 主イエスの恵みがすべての者と
ともにあるように。アーメン。』

～そして『聖書研究から日本の霊的覚醒が』ありますように～



聖書フォーラム
BIBLE FORUM

第3回講解 おわり

次回の予定

2017/8/13(日)

では学んだことを
分かち合いましょう！

